

船舶事故調査報告書

令和2年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年7月6日 22時46分ごろ
発生場所	京都府舞鶴市舞鶴港第3区 舞鶴港戸島灯台から真方位232°1,260m付近 (概位 北緯35°29.2′ 東経135°19.6′)
事故の概要	プレジャーボート ^{ベイブルース} BAYBLUEは、航行中、養殖筏 ^{いかだ} に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年11月20日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート BAYBLUE、2.6トン
船舶番号、船舶所有者等	251-21997京都、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	本船 船底外板に擦過傷 養殖筏 枠に折損
気象・海象	気象：天気 雨、風向 東北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、航行中、養殖筏に乗り揚げた。 船長は、養殖筏を示すブイに気付くのが遅れたと本事故後に思った。
分析	本船は、航行中、船長が、養殖筏を示すブイに気付いておらず、養殖筏に接近して航行を続けたことから、養殖筏に乗り揚げたものと推定される。
原因	本事故は、夜間、本船が航行中、船長が、養殖筏を示すブイに気付いておらず、養殖筏に接近して航行を続けたため、養殖筏に乗り揚げたものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・夜間においては、ブイの明かりのほか、GPSプロッターなどで船位を確認し、養殖筏から十分に離れて航行すること。